

入口正門から見た大銀杏



法林寺の大銀杏（柏市名戸ヶ谷）
樹齢600年の長寿樹木、樹高30m、柏市指定文化財

謹賀新年

シルバーの“顔”



石塚 功さん
(柏市布施で)

(詳細は5頁)

- ▽ もくじ ▽
- 2頁・会長、柏市長の新年挨拶
 - 3頁・地域班全体会議、女性のための入会説明会、じよぶコラム
 - 4頁・普及啓発活動、刈払機取扱講習、接遇研修、募集広告(植木・除草)
 - 5頁・シルバー学び隊、シルバーの顔、安全委員会より
 - 6頁・みんなの写真館(柏ゆずりは会、柏東地区講演会、富勢地区女性班会)
 - 7頁・みんなの写真館(柏西地区リサイクル工場見学、富勢地区歴史探訪、SG会)
 - 8頁・事務局だより、編集後記



☆ 平成29年度柏市シルバー人材センター安全標語最優秀賞作品 ☆

安全は 心の中とりと健康から

年頭のご挨拶



地域社会の活性化に
貢献できるセンターに



会長 月川 睦

新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆様には健やかに
平成30年の初春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

現在、我が国は人生100
年時代の超高齢化社会に
突入しております。その中
で、国の政策である「ニッ
ポン一億総活躍プラン」、
「働き方改革実行計画」に
示された、高齢者の就業
促進を執行する我々シル

バー人材センターには、
大きな期待が寄せられて
おります。

昨年当センターの成果
を顧みますと、会員増、契
約高拡大と順調に推移しま
した。これもひとえに、会
員各位の誠心誠意なる就労
が広く評価されたものと、
感謝しております。

本年度も役職員一丸と
なって、会員増、就業拡大
を目標に、また地域社会の
活性化に貢献できる様に努
めてまいります。

会員の皆様のなご一層の
ご協力・ご鞭撻を宜しく
お願い致します。

最後になりましたが、会
員並びにご家族の皆様のご
健勝とご多幸を心からお祈
り申し上げます、年頭のご
挨拶と致します。

あけまして
おめでとう
ございます

会長 月川 睦

副会長 日野 良英

常務理事兼事務局長

小城 亨

理事 内山 泰博

理事 岡村 俊子

理事 片岡 徹

理事 倉林 博孝

理事 越戸 玲子

理事 高橋 行雄

理事 高橋 豊顕

理事 鳴海 博美

理事 一本 忠之

監事 稲林 良博

監事 宮島 敬

職員一同

一億総活躍のモデルと
なることを目指す



柏市長 秋山 浩保

新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆様におかれまし
ては、健やかに新しい年を
お迎えのこととお慶び申し
上げます。また、日頃より
「自主・自立、共働・共助」
というシルバー人材セン
ターの基本理念の下、就業
を通じて活力ある地域社会
づくりに貢献されておりま
すことに、深く敬意を表し
ます。

さて、平成21年に市長の
職に就きました頃、市内に
おける65歳以上人口は7万
5000人余りでしたが、

平成28年には10万人を超
え、今後ますます高齢者の
社会的役割が期待され、そ
の能力や経験を活かした生
涯現役時代に備えた対応が
求められているところで
す。

こうした中、柏市シル
バー人材センターでは、直
近5年間の就業延べ人数は
増加数で全国11位と高い水
準を示し、昨年11月末には
初めて会員が1800名を
超えました。本市と致しま
しても、今後一層センター
との連携を深め、PRに努
めると共に、一億総活躍の
モデルとなることを目指し
てまいります。

引き続き皆様方のご理解
とご協力を賜りますようお
願い申し上げますと共に、
柏市シルバー人材センター
のご発展と会員の皆様のご
健勝をお祈り致します。



地域班全体会議 —地域班活動の活性化—



司会の日野副会長

月川会長

行われました。

議題の「地域班活動の活性化」では地域班活動内容や班活動成功事例などをあげました。問題点として参加者の少なさや役員の高齢化等をあげ、改善案としてチラシの配布や少人数地域班を導入し15名程度の班の編成を試行するとしました(30年度からの予定)。その後不明点や確認などの質疑応答がなされました。

29年度第2回地域班全体会議が、12月6日(水)アミューゼ柏プラザにおいて開催され、地区長・班長・副班長52名と、会長、理事など関係者が参加しました。

「会員の誓い」を唱和の後、月川会長が「いくつが

班会議に出席、皆様からいろいろな意見を伺ったが、それをセンターの運営に生かしていきたい。今日は地域班の活性化のため活発なご討議をお願いしたい」と挨拶。

日野副会長の進行で、各委員の紹介の後、議題と依頼事項、報告の順に審議が



質疑応答が行われました



後まで意見交換が活発に行われました。



女性のための入会説明会を開催



↑挨拶する月川会長



女性の生きがい就労について講演する風間さん→

11月16日(木)、教育福祉会館で「女性のための入会説明会」を開催し、19名が参加しました。

月川会長が「セカンドライフをいかに有意義に過ごすか、よく食べよく運動することに加え社会参加が最も重要です。センターにはいろいろな仕事があります。是非、女性の皆さんが経験と知恵をセンターで発揮していただきたい」と挨拶、センターの広報DVDを見た後、事務局の和田主事からセンターの概要、ジョブコーディネーターから就業状況の説明がありました。

じょぶコラム⑥ コミュニケーションが上手な人

私たちジョブコーディネーターの仕事は、会員の方々の性格や体調を見極めて適材適所の就業先を紹介し、その結果、発注者及び会員共々満足していただけることが使命だと思っています。実際そういう場合もありますし、そうでない場合もあります。就業中の会員さんが体調不良だったりして仕事を辞めざるをえなくなったり、発注者の方からあの会員は就業を辞めてほしいと断りの連絡があったりすると、直ちに交代の会員を探さねばなりません。当方は充実感とストレスが入り混じっているのが現状です。やはり一番気を遣う業種はスーパーマーケット。就業している会員はお客様からいつも見られていますので良かったことも悪かったこともセンターに上がってきます。仕事を長く続けている会員さんは、常に仕事の内容を意識しながら仕事をしていることは勿論、同じ職場で就業している他の会員さんとのコミュニケーションが上手な人だなあと感じます。

(柏南部担当・羽取)

次にセカンドライフファクトリーの学術員・風間弘美さんの講演「女性の生きがい就労」社会参加で認知症予防」が行われました。まず脳の衰えチェックをし、認知症の原因となる病気を説明し、次にアンチエイジングとは、細胞の老化を遅らせること、そのため重要な食生活(脳に良い栄養素、食べ物等)・運動習慣(有酸素運動、効果的なウォーキング)・社会参加(身だしなみ、知的活動、エピソード記憶等)が健康

長寿・認知症予防へのアプローチであると述べました。風間講師の話はとてもわかりやすく、これから社会参加する女性たちへの大いなる応援歌となりました。その後、入会手続きの説明があり、ジョブコーディネーター4人が入会希望者一人一人に丁寧に対応しました。入会者は13人でした。



普及啓発活動



本年2回目の当センターの普及啓発活動を、10月13日(金)午前中、柏駅東口と西口で行いました。

月川会長はじめ、理事や会員など14名が参加。あいにくの雨の中、傘をさしながらでしたが、恒例のお揃いのジャンパーで道行く高齢者などに声をかけ、チラシとティッシュ、花の種を配布し、当センターをPRしました。

安全な刈払作業の講習会開く

11月9日(木)、増尾城址公園で除草と公園管理従事者向けに刈払機取扱講習が開催されました。参加会員15名。

はじめに「安全な刈払作業のポイント」について講師の(株)新宮商の板垣勉氏から、座学講習を受けました。刈払機の種類・構造・作業方法、正しい運転や刈刃の位置、基本動作など、詳細な説明がありました。

その後実技に入り、正しい動作、誤った動作などを実際に体験し、事故を防ぐには防護ネット



刈払機についての座学と実践風景

を使用するのが一番のとこと。目先の人件費より損害や人的被害の方が大きいということを伝えていく必要があると講師は話しました。

風が強く肌寒い中での講義にかかわらず、初めての刈払機を扱う参加者も質問をしていました。

接遇(マナー)研修

駐輪場勤務の会員向けの接遇(マナー)研修が11月28日(火)、30日(木)の2日間、4回に分けて行われ、80名が参加しました。講師は田口幸子



「のぞましいコミュニケーションのために」を觀た後、3班に分かれグループワーク(各自自己紹介の後、決められたテーマに従いディスカッションし発表する)を行いました。

新入会員研修会

新入会員の研修会が11月27日(月)、センター大会議室で開催され、33名が出席しました。

講師の月川会長は新入会員に、「会員研修の手引き」に基づいて当センターの基



また、会員のマナーについてのDVD「のぞましいコミュニケーションのために」を視聴、改めて「あいさつ、会話、身だしなみ」について学びました。

本理念の理解や実践について詳しく紹介。入会から就業までの手順を説明し、各地区班活動や総会へ

除草班・植木班の班員を募集中!

当センターでは市内で個人宅(大半)・企業・マンション周りなどの除草(機械刈り、手刈り)および樹木剪定をしてくださる方を募集しています。

ベテラン会員の親切な指導を受けながら早期に技術を習得し地域の方々のお役に立つことが除草班・植木班の目標です。1日3~7時間、週に2~4日、2~4人の班編成で就業していただけます。

男女は問いません。経験の有無も関係ありません。

※屋外での仕事を希望する方は、どうぞセンターまでお問い合わせください。

柏市シルバー人材センター除草班・植木班 担当:高木

☎ 04-7166-6681
fax 04-7163-4150



シルバー学び隊

「シニアの生活設計セミナー」
⑥ 高齢者の検診の受け方



検査法を見出すことも大事。また「検査のメリット・デメリット」についても説明したほか、どんな個別検診プランが必要か、MRIやCTの特徴をよく知っておきたいとも述べました。

参加者からは、「病気の予防が大事なことだとよくわかった」「押しつけの検診でない自分なりの検診を考えると感想が寄せられました。

●安全だより

安全研修会を開催します

講師は元会長で、生涯医療ネットワーク代表の谷口義則氏。

今回は「高齢者の検診の受け方」がテーマ。当センターの紹介の後、「検診の基礎知識」では、検診の種類や注意事項について述べました。「検診の受け方」では市町村の検診では見つかりにくい場合もある。症状があっても特定できない未病状態ということも。家庭でもできる検診もあるの

で自分に合ったオリジナル検査法を見出すことも大事。また「検査のメリット・デメリット」についても説明したほか、どんな個別検診プランが必要か、MRIやCTの特徴をよく知っておきたいとも述べました。参加者からは、「病気の予防が大事なことだとよくわかった」「押しつけの検診でない自分なりの検診を考えると感想が寄せられました。」安全研修会を開催します。最近、就業時などの事故が増加しています。安全委員会では原点に立ち返る意味で、今後、安全研修会を開催の予定です。会員参加型の危険予知訓練をメインに、安全啓蒙を推し進めます(詳細は本誌折込チラシ参照)。また昨年11月より再び安全パトロール員を配置、事故発生状況を分析、事故防止の徹底に努めています。(パトロール員は本誌8頁に写真掲載) —安全委員会より

表紙!!



シルバーの

“顔”

石塚功さん

安全への関心は人一倍

石塚さんは毎朝、約10kmのジョギングを欠かしません。現在69歳ながら健康的な肌、細身の引き締まった体の持ち主です。それもそのはず元東京消防庁勤務。子供の頃から運動好きで、学生時代は陸上競技をしてきたスポーツマン。



東実健康センターの運動場で作業中の石塚さん

ある石塚さんにとっては快適な仕事だそうです。この仕事の前は当センター安全委員会のパトロール員でした。安全への関心が人一倍あるのは、長年の消防官としての現場経験からのもの。2年余り安全管理の意識付けのためにセンターの会員が就業する各企業や現場を回っていました。この時の経験をまとめ

たものが前号(105号)で紹介した「安全就業のしおり」。同じパトロール員だった大西勉さんと一緒に作成したものです。

安全就業のしおり↓



審判資格を持ち年間70日こなす

さらに石塚さんは日本陸上競技協会の審判資格を持っています。陸上競技をしていた関係で恩返しという意味合いもあり、25年前に取得。現在東京都で行われる陸上競技大会に参加し、毎週土・日、年間70日余をこの仕事に費やします。毎年お正月3カ日は、大学駅伝の審判で、自宅にいたことがないそうです。審判といっても交通費・お弁当付きのボランティア。趣味として楽しんでいるとのこと。「仕事も趣味もですが、好きなことができるのは幸せ」と、優しい笑顔で話してくれました。

みんなの 写真館

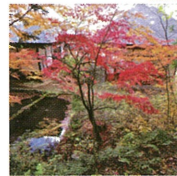


ゆずりは会親睦バス旅行 11/9 (木)



洞源山貞祥寺

紅葉の佐久平巡り



ピンポンコロといきたいな

びんころ地蔵



マンズワイン小諸ワイナリーで↓
20種のおいしいワインを試飲。
もっと飲んでいたかったという声も!



甘い香りに酔いしれました!



ゆずりは会(坂内代表)の親睦バス旅行が11月9日(休)日、43人が参加しました。最高のお天気に恵まれ、早朝7時に柏を出発、ゆずりは会の日帰りバス旅行では最長距離(往復で500km)である長野県佐久平へ。初めに訪れたのは、成田山薬師寺の山門前のびんころ地蔵。かわいい表情のお地藏様で、健康で元気で長生き(びんぴん)、寝込まずに大往生(ころり)を、一人一人祈願しました。

次に向かった洞源山貞祥寺の三重塔周辺はちょうど紅葉が真っ盛り、その美しさに一同ため息をつきながら鑑賞しました。昼食は懐古園近くの「草笛」で、名物の信州そばとおはぎのセットに舌鼓をうちました。最後に訪ねたのはマンズワイン小諸ワイナリー。プレミアムワイン「ソラリス」のビデオを見た後、工場内を見学し、20種以上のワインの無料試飲会へ。皆さん、機嫌で赤・白・辛口・甘口・フルーツワインなどあれこれ試飲を楽しんで、お土産も購入し、心地よい充実の一日を過ごしました。少し駆け足の旅でしたが毎年この旅行を楽しみに仕事に励んでいる人もいて、来年の再会を誓い合いました。皆様お疲れ様!

●柏東地区講演会
柏になぜ将門伝説?

柏東地区(沢田地区長)は11月24日(金)、アミューゼ柏で「柏の将門伝説」と題した講演会を、参加者18名で開催しました。講師は柏市教育委員会文化課の高野博夫氏。

千年以上前に生きた武将・平将門。謎の多い将門とはいっ

たいどんな人物だったのか。DVDを駆使し、初めに各地に残る将門伝説、さらに大井郷にまつわる千葉氏や相馬氏との関連、田中村と幸田露伴の関係、将門や坂東武者の強さの秘密などについて説明。本題の「柏の将門伝説」では、市内に残る、将門神社と龍光院・地藏尊(岩井)、持法院と将門の墓(藤ヶ谷)、布施弁天の絵馬(布施)があり、また近世の吉田家(花野井)も将門に関する相馬氏の末梢といわれるとのこと。歴史がないといわれる柏にも拾い集める

高野講師



●第1回女性班会議開くー富勢地区ー

富勢地区(曾我部地区長・4班)では、11月30日(木)、根戸近隣センターにおいて女性班会を開催。月川会長、地区長、各班長、センターから越戸女性部会長など総勢19名(女性15名)が参加しました。



家事援助など女性への就労発注が増え活躍が期待されている中、「女性班会」が開かれたのは画期的なこと。今後の人生を働きながら楽しく過ごすためにも、地域でのコミュニケーションの大切さを実感、常日頃考えていることや情報交換などが活発に行われました。「これを機に他地域班にも声掛けし女性が活動しやすい場を作っていきましよう」と結び、その後懇親会が開かれました。

●リサイクル施設見学とウォーキング



— 柏西地区 —



柏西地区（伊藤地区長）は 11月15日（水）、ウォーキングを兼ね柏市リサイクルプラザ（柏市十余二）の見学を行いました。高田近隣センター前に14人が集合、すっかり秋も深まった大堀川沿いをハイキング気分です歩きながら、30分ほどでリサイクルプラザに到着しました。柏市リサイクルプラザには資源品を処理するリサイクル工場があり、ま



た3R（リデュース・リユース・リサイクル）を学び体験できるリボン館があります。私たちが何気なく出している資源品がどのように運ばれ処理されているか、ビデオを見た後、担当の新井さんの案内で、一日で最大176トン処理している工場内を見学しました。空き缶・空びん・ペットボトル・古紙などの処理方法は様々。びんや缶の手作業の分別を見たり、大がかりな圧縮梱包機やプレス機などを目の前にすると目から鱗のことが多く、熱心に質問する人も。リボン館には再生原料で作ったびんや缶、衣類等のほかリサイクル工房で修理された家具などの展示売場もありました。

会員たちは「この場所での内の資源品全部を処理しているとは思わず、とても参考になった」「リサイクルについて改めて考えた」と話していました。

●歴史探訪

— 富勢地区 —

地区長・曾我部武（寄稿）

富勢地区では、地区内会員相互の親睦・交流のため、10月1〜2日、合同班会議を兼ね、栃木県鬼怒川方面へ1泊2日のバスツアーを参加者12名で実施した。鬼怒川の東武ワールドスク



エアの世界建築物博物館へ。建築物はミニチュアながら見ごたえがあり、半日余りを見学し、世界史への造詣を深めることができました。

●第23回SG会開催

日野良英（寄稿）

10月17日（火）、つくば東急ゴルフ倶楽部にて、参加者11名によるSG会コンペが開催されました。

1週間以上続いた雨が朝には回復、コースは筑波山を背にした林間で6214ヤード、パー72。各ホールは松林でセ

●ふるさとまつりでセンターをアピール

— 大井・大津ヶ丘地区 —



大井大津ヶ丘地区（高川地区長）は10月7日（日）、第37回沼南まつりに参加。

月川会長も顔を見せ、6名の会員が当センターの普及のためのパンフレット等を配布しました。またブースでは会員などが提供したサツマイモ、桜草の苗、サボテン、カポックを販売したほか、今村元地区長手作りの子供向けの昔の遊び道具（竹とんぼ・ぼっくり）の実演販売を行い大変好評でした。

次回は5月、さらに参加者を増やし、元気で再会することを約束し閉会しました。

●佐野市シルバー人材センターが当センターを視察

10月27日（金）、栃木県佐野市シルバー人材センターの役員8名が当センターを視察しました。当センターの活動状況や問題点、今後の課題解決などについて説明、有意義な意見交換を行いました。

●就業延べ人員増加数が全国11位

全国SC事業協会から平成28年度以前の過去5年間の全国SCの実績（変化）が出され、当センターの就業延べ人員増加数が全国1323カ所あるセンター内、11位という結果になりました。

みんなの写真館



式では優勝者の感想などを発表しあい、初参加2名を含め自己紹介を行い親睦を深めました。

【事務局からのお知らせ】

事業実施状況報告（10月末）

		平成28年	平成29年
会員数（人）	男	1,285	1,349
	女	396	424
	合計	1,681	1,773
就業実人員（人）		1,316	1,343
就 業 率（%）		78.3%	75.7%
受注件数	公共	32	35
	民間	2,496	2,559
契約金額（千円）		414,082	427,684

配分金支払日

12月分 1月25日(木)
 1月分 2月26日(月)
 2月分 3月26日(月)

▼毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

平成30年度 柏市シルバー人材センター安全標語 を募集します!

安全就業の推進、事故防止の啓発、安全意識を高めるため安全標語を募集します。応募作品は安全委員会で選考し、最優秀作品を平成30年度安全スローガンとして採用します（入賞者には粗品進呈）。たくさんのご応募をお待ちしています。

- ◆ 就業中の事故防止や安全就業の推進にふさわしい未発表作品
- ◆ 会員番号と氏名を明記の上、郵便ハガキでご応募下さい。1人2作品まで
- ◆ 宛先：柏市シルバー人材センター安全標語係
- ◆ 応募締め切り 平成30年2月16日(金)
 （今年度の最優秀作品は本誌1面下参照）

ゆずりはクイズ Part34

- Q1、女性入会相談会で講師をつとめた人は誰でしょうか？
- Q2、「シルバーの顔」に掲載された石塚さんの元の職業は？
- Q3、第1回女性班会を開いた地区名を教えてください。

☆ヒント：3面、5面、6面

◎答をハガキに書いて事務局にお送りください。締め切りは **2月23日(金)** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ゆずりはクイズ Part33の正解

- Q1の答：東京新聞社賞
 - Q2の答：篆刻（てんこく）
 - Q3の答：柏東地区
- 応募数 15通、うち正解者数 13通でした。

● 新入職員紹介 ●

※皆様の職場へおかけがたい
 いたします。ごひそごひ
 お願いいたします。



清水 純一さん



大平 正則さん

安全パトロール員

センター緊急連絡先 080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に
 応答します。連絡は、**緊急なことかどうか**
 を考えてから電話をしてください。
 事故・ケガの場合のみの緊急連絡先
 となっています。



〈編集後記〉

来年5月1日から、新元号になることが発表され、時代の変わり目が出てきています。最近「ニューノーマル」という言葉を耳にするようになりました。かつて異常とされたことが、ありふれた自然のものになる。意味だとかいろいろな場面での変化を目の当たりにし、驚かされることが多くなりました。年を重ねた証拠といえますが、変化を受け入れ、それを楽しむくらいの日々でありたいもの。先日、取材先で出会った笑顔の素敵なAさん。掛け持ちで3カ所の仕事をこなし、好きなボランティアも楽しんでる姿はとても好ましく元気づけられました。■高齢者の「健康寿命」を伸ばす方法の一つとしての生涯現役。シルバー人材センターの役割が、益々求められているといえます。■「ゆずりは」を今年もどうぞよろしくお願いたします。

(Y)